はたらきにくる人（市町村）

はたらいている人	通う方法
1,350人	車で→95% 歩き→５％

工場のおじさんのお話

白河市に工場をたてたわけ

白河市は、東京から近いことがみりょくですし、大きい工場を作るので、土地が安かったことと一生けんめい働いてくれる人がたくさんいたことが大きなわけです。

また、車をつくる工場が近く（栃木県や埼玉県）にあるのでタイヤを運ぶのに便利だからです。

タイヤをつくるとき

「安全なタイヤをつくる」これが一番の目標です。

そのために夏用と冬用のタイヤがあったり、テニスコートで何回も車を走らせて実けんをしたりしています。

――安全にはたらくために――

○ 動きやすい服そうに着がえています。

○ そで口が一番あぶないので細くせばめて、機械にまきこまれないようにしています。

○ 機械の中に安全そうちもついています。

――はたらく人のために――

○ 工場内には、食堂があって、メニューも数種類あります。

○ 売店やくつろげるロビーもあって、工場の中で買い物や休けいができるようになっています。

――地域のために――

○ ゼロエミッション活動を行っています。これは、工場から出たごみを焼いて、うめたてになるごみを出さないようにする活動です。

○ ボランティア活動を行っています。障害者施設や福祉関係のイベントに参加しています。